

ACOUSTIC FLOOR BLOCKS

施工ガイドライン



1. 注意事項

施工作业を開始する前に、施工ガイドラインをよくお読みください。浮床が正しく機能するためには、以下の点を遵守し、確実に実施することが不可欠です。

2. 輸送および保管

- 必ず元の梱包のまま輸送してください。
- 梱包に損傷がある場合は、直ちに(粘着テープで)補修してください。
- 必ず元の梱包のまま、乾燥した場所に保管してください。
- 直射日光を避けてください。
- 元の梱包を取り外した後は、湿気から保護してください。
- アコースティックフロアブロックは、積み重ね可能な段ボール箱で納品されます。
- 保管場所の温度などの条件は、設置場所の条件と一致している必要があります。保管場所の温度が設置場所の温度と大きく異なる場合は、少なくとも24時間かけて AFB を環境に慣らすことをお勧めします。
- 適切に保管すれば、ブロックは性能を損なうことなく長期間使用可能です。

3. 施工

3.1 現場の準備

施工面は、油、グリース、その他の汚れを取り除き、鋭利なエッジがないようにきれいに掃き清めておく必要があります。ベーススラブの推奨平坦度は、2 m の直定規で測定して -10 mm です。点状の隆起や凹凸のある表面は、荷重の不均一な分散や浮床の構造的損傷につながる可能性があります。

3.2 防湿層 (オプション)

必要に応じて、適切な防湿層を設置してください。

3.3 立上がり材の施工



すべての壁に沿って、また立ち上がった垂直部材の周囲に立上がり材を固定してください。立上がり材は、全体の厚みよりも高く、最終工程に至るまで施工全体を通じて見えるようにする必要があります。垂直方向の継ぎ目はテープでシールしてください。

3.4 レイアウトとグリッド



施工計画に従い、設計された間隔を遵守して、AFBの配置のためのグリッド線をチョークラインまたはレーザーを使用して引いてください。

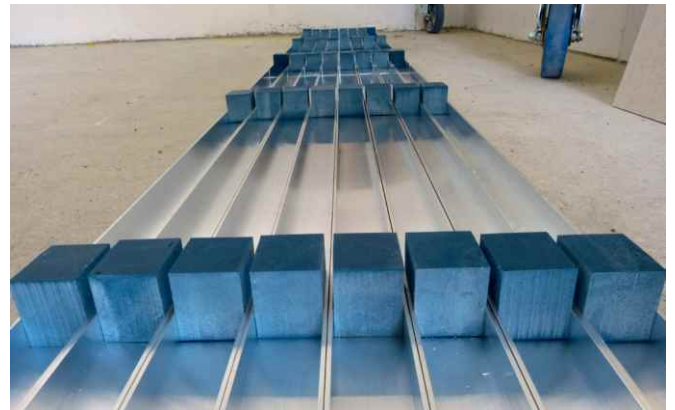
3.5.a アコースティックフロアブロック (直接設置)



施工計画に従い、種類ごとにAFBを配置します。

オプション: 施工中にフロアブロックが動かないように、市販の接着剤を使用することができます。

3.5.b アコースティックフロアブロック — チャンネルへの設置



CD 60/27 プロファイルなどの乾式工法用金属チャンネルを使用すると、施工を迅速化できます。AFB が適切に嵌合するよう、推奨されるチャンネル内

チャンネル幅は、AFBが適切に収まるよう52 mm以上とする必要があります。荷重下でのサウンドブリッジの発生を防ぐため、フランジの高さは30 mmを超えてはなりません。時間の経過とともにAFBを損傷させる恐れのある、チャンネルの鋭利なエッジとの恒久的な接触は避けてください。

施工計画に従ってAFBを金属チャンネル内に配置し、施工全体を通じて指定された間隔が維持されるようにしてください。



施工計画に従い、AFBが下向きになるようにチャンネルを支持床上に配置するとともに、必要な間隔も確保してください。

3.6 グラスウール(オプション)



空気伝搬音の遮音性を向上させるため、AFBの間にグラスウールを使用してください。密度が $25\sim 30\text{ kg/m}^3$ 以下、厚みが40mm以下の軽量グラスウールが推奨されます。

3.7 設型枠



AFBまたは金属チャンネルの上に、使い捨て型枠(OSB、合板、鋼板など)を設置します。パネルの接合部は、パネル内側に少なくとも20mm入り込むようにAFBまたはチャンネルで支持し、必要に応じて機械的に接合する必要があります。接合機構に使用する締結具の長さは、型枠の厚みを超えてはなりません。パネルの設置後、立上がり材が依然として確認でき、圧縮されていないことを確認してください。パネルが壁やその他の垂直部材に直接接触していないことを確認してください。

3.8 PEフィルム(任意)



PEフィルムを仮設型枠の上に敷き、シート間の重なりをより20cm確保し、立ち上がる垂直部材の上まで延ばします。継ぎ目はテープでシールします。

3.9 床下暖房・冷房(オプション)



床下暖房・冷房システムは、メーカーの推奨に従い、使い捨て型枠の上に設置することができます。ステーブル、クリップ、レールなどの固定方法を使用できますが、その長さが使い捨て型枠の厚みを超えないことを条件とします。

3.10 浮床コンクリートの打設



メーカーのガイドラインに従って、浮床コンクリート、またはボードを施工してください。

3.11 床仕上げ



床仕上げ材と幅木を取り付けます。その後、立上がり材とPEフィルムを取り外します。

注意: 垂直な壁、台座、幅木と床仕上げ材との間に堅固な接合部があると、サウンドブリッジの原因となるため、必ず避けてください!

4. 耐用年数とリサイクル

アコースティック・フロア・ブロックは、耐久性に優れたエラストマー製の製品です。改修や解体の際、ブロックは取り外すことができ、その状態に応じて、機械的または熱的な方法で再利用またはリサイクルが可能です。

施工中に発生した廃棄物は、通常のプラスチック廃棄物用コンテナを通じてリサイクル用に処分できます。当社の材料はいずれも環境への危険性を伴いません。

5. 免責事項

本施工ガイドラインは、ゲッツナー・アコースティック・フロア・ブロックの施工において、お客様およびその請負業者を支援し、助言することを唯一の目的としています。ゲッツナー・ヴェルクシュトッフェ社は、本ガイドラインにおいて既知の要件および課題を概説しています。本施工ガイドラインは細心の注意を払って作成されています。しかしながら、施工方法や要件は多岐にわたるため、ゲッツナー・ヴェルクシュトッフェ社は、本施工ガイドラインの完全性について一切の責任を負いかねます。特に、ゲッツナー・アコースティック・フロア・ブロックの正しい施工については、ゲッツナー・ヴェルクシュトッフェ社は責任を負いません。不適切な施工が行われた場合、ゲッツナー・アコースティック・フロア・ブロックの特性・品質または性能に悪影響が生じたとしても、ゲッツナー・ヴェルクシュトッフェ社は一切の責任を負いません。

施工は専門家によって行われることを強く推奨します。その他のすべての権利は留保されています。第三者への開示は明示的に禁止されています。

すべての情報およびデータは、当社の現時点での知見に基づいています。これらは、アコースティック・フロア・ブロックの施工に関する提案としてご利用いただけます。当社は、データを修正する権利を留保します。

その他の言語版の施工ガイドラインは、当社のホームページでご覧いただけます。